

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市榴岡図書館		
2 指定管理者	丸善雄松堂株式会社		
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 109,107人団体〔個人:108,958人、団体・文庫:149団体〕(前年度比 98.9%) 令和4年度 110,361人団体〔個人:110,256人、団体・文庫:105団体〕(前年度比 114.6%) 令和3年度 96,265人団体〔個人: 96,178人、団体・文庫: 87団体〕(前年度比 102.7%)		
	《事業》 仙台市榴岡図書館の運営管理		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額		
	・ 指定管理者に支払った費用	46,992千円	(46,992千円)
	・ その他市が負担した費用	13,031千円	(12,508千円)
	《収入》		
	・ 使用料収入	0千円	(0千円)
	・ その他収入	23千円	(31千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート 実施期間:令和5年12月10日～12月23日 ・利用者懇談会 開催日:令和6年2月8日		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事を適切に行っている。また、サービスの質の向上や利用促進のための取り組みがなされている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は仕様書のとおり適切であり、指定管理料は適正に執行されている。 個人情報保護の取り扱いや図書館情報システムのセキュリティ対策を徹底し、事故防止チェックリストに基づき、事故や苦情等の事例を広瀬図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。災害発生時の訓練は、関係機関と合同で適切に実施している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物及び設備は適切に管理されており、毎日定時に館内を巡回し、事故・犯罪の未然防止に努めている。利用者から提供される紙袋を本の持ち帰り用に自由に利用してもらえるように設置するなど環境に配慮した取り組みもなされており、備品も適切に管理されている。	17/17
IV サービスの質の向上	より多くの利用者が資料閲覧や調べものができるよう、閲覧席を増設し、読書環境を整えた。また、日頃からある利用者からの要望や意見を、生涯学習支援センターとパルシティ協議会に伝え働きかけを行ったことで、男子トイレの洋便器化と返却ポストの案内表示をリニューアルし、誰にとっても利用しやすい図書館づくりに努めた。 職員の教育・研修において、定例休館日に、個人情報保護研修やレファレンス研修など、全職員が参加する研修を実施し、サービス水準の確保に努めている。また、図書館が果たす地域貢献等に関する研修やブックトーク研修など、職員の資質向上のため積極的に各種研修を受講している。	27/27
V 施設固有の基準	従来のブックトークや関連図書資料の貸し出しに加え、独自の取り組みとして私立高等学校との連携により同校生徒による英語でのおはなし会を実施するなど、学校連携事業を積極的に行ったほか、前年度まで実施していた中高生対象の「選書サポーター会議」を、図書館業務全般の中で活動内容等を参加者自身で考える「図書館Jr.サポーター」にリニューアルし、中高生がより主体的に読書活動できる機会づくりに努めた。 また、令和5年度の新たな取り組みとして、仙台駅東まちづくり協議会、建設局公園管理課との連携により榴岡パークマネジメント社会実験で実施したブックトレードが好評で、令和6年度の継続事業にもつながっており、本を通じた知識の交流する場の提供は、市民の生涯学習活動の推進に効果的な事業だと評価できる。	18/16

三 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂株式会社）による自己評価》
<p>1.令和5年度は、指定管理者として「基本方針」と「仙台市図書館振興計画」に基づき、さらには開館40周年という記念の年でもあったことから、「40周年記念スタンプラリー」や「榴岡公園での社会実験(ブックトレードと各種ワークショップ)」等の自主事業を通して、例年以上に地域の団体や教育機関との連携を強化し、地域での存在感を高めた。さらに利用者サービスの向上を図るとともに「地域に根差し、共に成長し続ける図書館」を目指した。</p> <p>2.自主事業は、YA事業を「図書館Jr.サポーター」としてリニューアルし、参加者自身が自主的に活動できるようサポートし、さらには図書館がサードプレイスになることを目指した。前年度に引き続きSDGsの啓蒙を図る事業を展開し、地域包括支援センターと連携した高齢者向けの講座を実施することで、生涯学習支援の基盤施設として図書館の機能を果たした。</p> <p>3.利用実績は、前年度比で利用者数、図書の貸出冊数ともにやや減少しているが、視聴覚資料の貸出点数、個人登録者数は増加している。</p> <p>4.教育研修は、オンライン研修を含め、図書館総合展に赴く等、対面での研修にも積極的に参加した。他都市の図書館ニーズや最新のサービスについて把握し、職員一人一人の知識の習得や技術向上に努めた。</p> <p>5.施設管理は、引き続き文庫本への買替えを進めるとともに、一部の書架を買い替えることで限られたスペースを最大限活かしながら、資料の配置等工夫した。また、日頃からある利用者からの要望や意見を生涯学習支援センターとバルシティ協議会に伝え働きかけを行ったことで、男子トイレの洋便器化と返却ポストをリニューアルし、より快適で利用しやすい図書館を目指した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度は開館40周年を迎え、記念事業として市内の図書館や仙台駅東口エリアの協力施設と連携したスタンプラリーや、絵本作家スギヤマカナヲ氏の原画展、トークイベントなどを開催し、新たな利用者の獲得に努めた。</p> <p>子ども読書活動に資する事業としては、従来のブックトークや関連図書資料の貸し出しに加えて、令和5年度の新たな取り組みとして、私立の高等学校と連携し、同校生徒による英語と日本語による読み聞かせを実施するなど、学校連携事業が積極的に行われている。また、前年度まで実施していた、中高生の選書アドバイザーによる選書支援・ブックリストの作成等を行う「選書サポーター会議」を、参加者自身で活動日や内容について考え、図書館業務全般を体験できる「図書館Jr.サポーター」としてリニューアルし、中高生がより主体的に読書活動できる機会づくりに努めた。</p> <p>また、前年度に引き続き、地域の団体や外部機関等と連携し様々な事業を行った。前年度も好評だった地域包括支援センターとの連携による終活に関する講座は、前年度を大幅に上回る参加があり、地域ガイドボランティア団体との連携による「まち歩き」では、館内及び仙台駅東口周辺の案内と、関連資料の展示を行ったほか、歴史民俗資料館との連携では講座と関連資料の展示を行うなど、地域に根差した交流を深めるとともに、図書館の利用促進を図っている。さらに、令和5年度の新たな取り組みとして、仙台駅東まちづくり協議会、建設局公園管理課との連携により、榴岡公園パークマネジメント社会実験に参加し、8回にわたりワークショップやブックトレードを開催した。特に、ブックトレードは好評で、令和6年度の継続事業へとつながっており、本を通じた知識の交流する場の提供は、市民の生涯学習活動の推進に効果的な事業だと評価できる。</p> <p>誰もが利用しやすい図書館のための取り組みとして、閲覧席の増設や、日頃からある利用者からの要望や意見を生涯学習支援センターとバルシティ協議会に伝え働きかけを行ったことで、男子トイレの洋便器化と返却ポストの案内表示をリニューアルし、より快適で利用しやすい図書館づくりに努めた。</p> <p>職員の教育・研修においては、定例休館日に、個人情報保護研修やレファレンス研修など、全職員が参加する研修を実施し、サービス水準の確保に努めている。また、図書館が果たす地域貢献に関する研修やブックトーク研修など、職員の資質向上のため積極的に各種研修を受講している。</p> <p>以上、榴岡図書館の指定管理者は、施設の設置目的に沿って適切に管理運営を行うとともに、地域の施設等と連携しながら職員が工夫をして新しい取り組みや、魅力的な事業を実施し、サービス向上に貢献している点が大いに評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):教育局市民図書館